

すみれ通信 53号

すみれ通信は、医療・介護に携わる方に発信しています



〒 251-0032
藤沢市片瀬339-1
藤沢市医師会館
在宅医療支援センター
☎ 0466-41-9980
Fax 0466-41-9981
メールアドレス fuji-zaitaku@movie.ocn.ne.jp



11月

今年の10月は、例年と違い晴天に恵まれなかったり、大きな台風による被害があったりと厳しい月でしたが、ラグビーワールドカップで日本のベストエイト進出や、厳かに行われた即位の礼など明るいニュースもありました。

そんな中、「ACP」について2回目の講演会を開催しました。

第2回 在宅医療・介護連携多職種研修会 第2回 医師のすそ野を広げる研修会 開催



日時 令和元年10月18日(金) 19:30~21:00
場所 藤沢市医師会館

テーマ **ヒトリで決めるからミンナで話すへ
～人生会議のススメ～**

講師 老蘇会 静明館診療所 大友 宣医師
参加者 135名

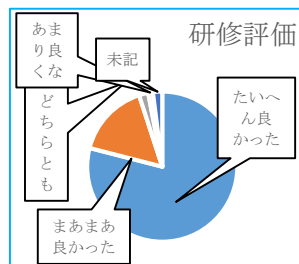
医師 28・歯科医師 1・薬剤師 7
看護職 28・歯科衛生士 1・介護職 2
ケアマネジャー 34・社会福祉士 8・ソーシャルワーカー 4・
事務職 2・福祉用具 1・鍼灸師 2・PT/OT 1
藤沢市 14・その他 2

アンケート結果

回収数 100 (市職員除く回収数 82.6%)
医師 16・歯科医師 1・薬剤師 7
看護職 23・歯科衛生士 1・介護職 2
ケアマネジャー 31・社会福祉士 3・ソーシャルワーカー 5・
事務職 4・福祉用具 1・鍼灸師 2・PT/OT 2
その他 4 (申し込み時の職種と一部異なる場合あり)

研修について

たいへん良かった 79
まあまあ良かった 16
どちらとも言えない 2
あまり良くなかった 1
未記入 2



【ご意見の抜粋】

・ACPの歴史から先生の事例も聞けて大変勉強になりました。特に対話記録やネガティブケイパビリティ(耐える)ということが印象的で、実践したいと思っています。

- ・ACPって誰のものなのか?と考えていたが、根本が間違っていた。普段から対話を大事にしようと思う。
 - ・ACPを形式ばった、かたくなるしいものにとらえていたが、もっとやわらかく考えてもよいのだと理解できた。
 - ・平素、患者さんとしていた会話が、結果その人にとってACPになっていると感じました。医療、介護、福祉の人々だけでなく関連する職種、さらには一般の人にも知ってほしいです。
 - ・「決めなくていいから、会話しよう」という姿勢が大事であるということがわかりました。でも現状ではACPをDNRと混同している方が多いのではないかと危惧します。
 - ・とにかく結論を求めがちだが、プロセス、対話が大切と感じた。
 - ・非常に分かり易いご講演でした。ふとした時とは医療介護職以外でも関わる者全てが遭遇すると思います。ひとつの質問に多人数が関わることで、複数の質問に変わる、地域を交えた連携が大切だとあらためて感じました。
- *素晴らしい講演で多くの方から、感銘を受けたことを記載して頂きました。

ネガティブ・ケイパビリティ

- ・どうしても答えの出ない、どうしても対処のしようのない事態に耐える能力
- ・性急に証明や理由を求めずに不確かさや不思議さ、懐疑の中にいることができる能力

在宅医療支援センターについて

副会長・センター長 酒井辰彦

当センター主催の研修にご参加頂いている皆様、いつもご協力ありがとうございます。至らぬところはアンケートで御意見を頂ければ幸いです。

当センターの目的は、全国共通で「在宅療養患者や家族に対し、在宅で安心した生活を送る為の総合的な相談や支援を行ない、医療機関や福祉関係等と連携を図りながら、適切な支援を行うことにより、患者及び家族のQOLの向上を図る事」です。

現在は委託事業として医師会内に設置されていますが、その主体は藤沢市です。

在宅医療機関は非医師会員もあり、また全施設、事業所から幅広く意見を聞き、また指導をする為には今後も医師会に設置され続けるべきかが今後の課題です。

❁地区別懇談会 11/14(木) 湘南台・長後地区
11/21(木) 善行・六会地区